



すいかが

荻田町青少年育成町民会議だより

2005 かんだ港まつり パレード参加!



5月21日(土) 晴天

新開公園は新緑に染まり、日差しがきらきらきらめいていた。そんな中、昨年に引き続き荻田町青少年育成町民会議では、多くの会員の方のご出席をいただき、かんだ港まつりのパレードに参加。

「大人が変われば、子どもも変わる。」

を主要テーマに、お互いの個性を認めることの大切さや生命の尊さについて、「子どもと語り合い」、「近所の子どもにも関心を持つて」接し、子どもを地域とのかかわりの中で育てていく。と……。

沿道に詰め掛けた町民の皆様には、ティッシュを配り、商店街を練り歩いた会員の意気込みで滴る汗が、夏の気配をひしひしと感じさせたパレードだった。



みんなで 育てよう 青少年

7月は青少年を非行から守る強調月間

この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう。

携帯電話や パソコンは使いよう

携帯電話やインターネットは、使い方一つで、役立つ道具にもなれば、子どもの身の危険をさらす道具にもなります。外の世界とすぐに情報がつながることは、見知らぬ危険な世界と子どもが直結することになります。

子どもが使用したいといってきたときこそ、話し合いのチャンス。「なぜ使用したいのか」などについて、親子で話し合い、納得した上で、使う・使わないを決めましょう。

使うときには、使用場所や使用時間、使ってよい目的などについてのルールを最初に家庭で決めましょう。また、マナーモードの使用などの公共のマナーや、知らない人からメールが来たら返信しないなど、危険からの自己防衛の仕方も、親があわせて教えることが必要です。



6月2日に馬場小学校において「防犯パトロール」のたすき作成の講習会が開催されました。各学校に戻って必要数を作成し、地域の防犯パトロールを行ってくださっている方々に配布する予定です。

荻田町青少年育成町民会議では、町内の居住地域を中心として、不審者・非行防止のため、広報活動を行っております。

不審者等に気付いたらすぐ110番または近くの学校へ連絡下さい。いろいろな情報をお待ちしています。

町民会議事務局 TEL093-434-9838

遊びが子どもを 大きくする



西日本工業大学で、学生が自主的に結成した防犯パトロール隊、「西工大ニコニコ隊」の発足式が5月18日に行われました。これは多発している子どもの連れ去りや、地域の安全確保のため月3

西工大ニコニコ隊

回、午後8時から1時間ほど大学周辺地域のパトロールをし、「あいさつ」「声かけ運動」で街頭犯罪を未然に防止します。学生のみなさんは、行橋京都地区防犯協会から貸与された帽子とベスト、腕章を身につけると、早速、街頭パトロールへと出発しました。



平成17年度 苅田町青少年育成町民会議 第17回 総 会

◆とき：平成17年4月26日(火)

◆ところ：苅田町中央公民館 第5研修室

平成17年度の主要事業計画

- 4月 ○あいさつ運動(年間)
○アンビシャス広場後援
○少年を守る日補導
(毎月第3水曜日)
- 5月 ○港まつりパレード参加
○花火大会会場警備
- 6月 ○オアシス人形劇公演
(対象:幼・保)
- 7月 青少年を非行から守る
全国強調月間
○有害図書要望訪問
○オアシス人形劇公演
(対象:幼・保)
○夏休み特別補導
○すこやか47号発行
○ふれあい地引き網体験
○イカダ大会
- 8月 ○夏休み特別補導
- 9月 いじめストップ強調月間
○いじめストップ
キャンペーン実施
○家庭の日チラシ配布
○健全育成講演会
- 10月 ○神幸祭補導
○三代交流スポーツ大会
○苅田町スポーツ祭後援
○先進地研修視察
○オアシス等入選者表彰
○シンナー等薬物乱用防止講演会
- 11月 全国青少年健全育成
強化月間
○すこやか48号発行
- 12月 ○年末年始特別補導
- 1月 ○親子ふれあい講座
- 2月 ○どんど焼き補導
- 3月 ○委員研修会
○春休み特別補導
○すこやか49号発行



平成17年4月26日(火)
苅田町青少年育成町民会議
第17回総会が開かれました。
来賓として、行橋警察署 生
活安全課課長 川口茂則氏、
苅田町議会議長 珠久六夫氏
がご出席下さいました。

三役の方々

会長	伊 塚	工 氏
副会長	千 原	勲 氏
理事長	三 角	主 氏
森 實	生 氏	

伊塚町長の挨拶から始まり、
昨年度の主な事業と決算報告
があり、今年度の事業計画案
などを提案。
また、役員改選に係わる新
役員のご承認もいただき、無
事に総会を閉会しました。
平成17年度・18年度の新役
員(3役)は、次のとおりで
す。2年間よろしく願いま
します。



平成17年度 事業計画 《重点目標》としては、

1. 地域・校区単位で子どもたちを中心とした異年齢交流を促進し、各種体験活動や遊びを共にする場を数多く提供していくよう努める。
2. 少年犯罪や「不審者」等による被害から子ども達を守るため、非行防止活動および啓発活動を積極的に推進する。
3. 各種団体等との連携の下、様々な諸問題に積極的な取り組みを行う。
4. 広報・啓発活動を一層推進する。

以上をふまえて、これからの青少年の健全育成を推進してまいります。

見つけたあ!! 元気な子どもたち!



▼転ばぬように気をつけて

▲苗作り体験 お見事!!



何を見つけたのかなあ。

”まるっと農園
黒添にて”

感動体験



▲昔の農法で植えてみました。

会員募集中!

子ども達と一緒に農業をしてくださる方

◆問い合わせ：苅田町子ども会 育成連合会
田口 朝子 TEL090-4589-3200

まるっと農園

お米作りを主に苗作りから、草取り・稲刈り…とひとつの流れを最後まで体験する事業を行っています。いやな事、楽しい事、きつい事、汚い事。まるごと体験の意味を込めて、まるっとになっています。



かんだ港まつり

5月21,22日のかんだ港まつりは、晴天に恵まれ、元気いっぱいにはしゃぐ子ども達がたくさん見うけられました

感

漁船体験航海

初めて漁船に乗りました。海側から見た苅田町は、工場がたくさん見えました。



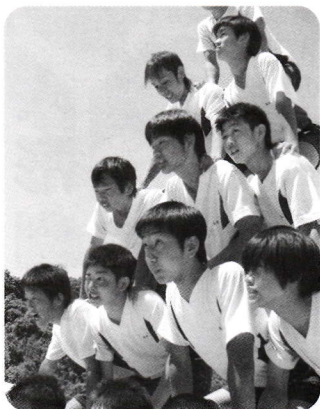
飾

不思議な国のアリス&ピーターパン (苅田商工会議所 会頭賞 受賞)

かんだ港まつりパレードに参加しました。楽しい一日を過ごすことができました。



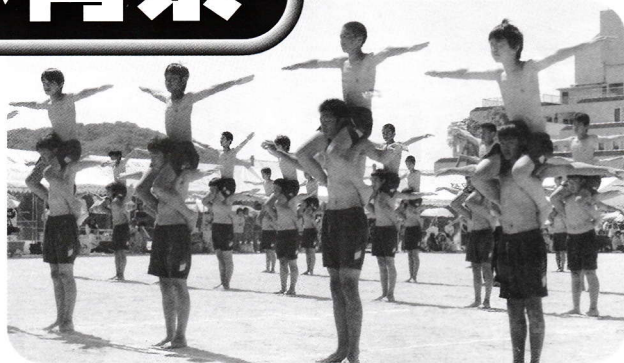
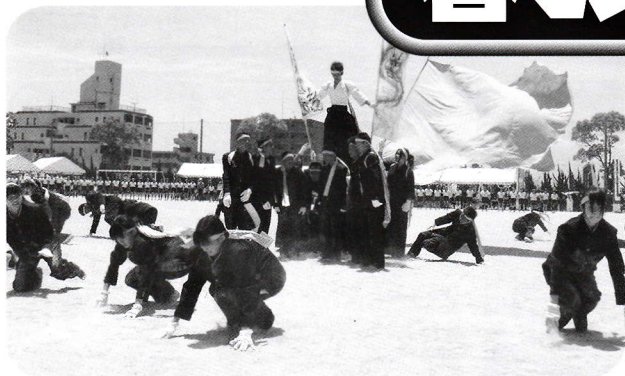
無我夢中 荻田中



町内の2校の中学校（荻田中学校・新津中学校）の体育祭が5月29日（日曜日）に行われました。今年は雨が少なく練習の時も暑い日が続きましたが、生徒たちは一生懸命に取り組んでいました。本番当日も晴天に恵まれ、気温が30度近くまで上がりましたが、どちらの学校も練習の成果が発揮され素晴らしい内容の演技が行われました。

荻田中学校では学年別のクラスマッチ形式で得点を競いました。また、全校男子による組み体操と全校女子によるソーラン節をメインとし、練習の半分以上をこの二つに費やし全校で取り組みました。男子は力強い緊張感のある演技ができていました。女子も大きなかけ声とともにダンスリーダーを中心とした息の合ったソーラン節を披露することができました。

春の体育祭



新津中学校では縦割りのブロック対抗で競技が行われました。連休明けから練習を始め、ラジオ体操や学年競争遊戯など全体練習や学年練習を一日2～3時間ずつ行いました。その練習の成果が十分に発揮され、3年生を中心としたまとまりのある応援合戦や男子の組み体操・女子のダンスは大きな拍手を浴びていました。



燃やせ情熱 新津魂



2005年 夏のチャレンジ・キャンプ

子ども ゆめ基金

主催: 苅田町子ども会育成連合会
後援: 苅田町教育委員会

- ◆日 時 平成17年8月4日(木)～8月8日(月)
- ◆場 所 英彦山青年の家
- ◆対象者 小学4・5・6年生
- ◆参加費 8,000円
- ◆定 員 40名
- ◆申し込み締切日



平成17年7月15日まで
※参加費は申し込みの時に徴収します。
※子ども会に入っていない人は
別途保険代1,000円
がかかります。



◆問い合わせ・申し込み先 担 当:

- 苅田町子ども会育成連合会
TEL090-4589-3200
田 口 朝 子
- 苅田町中央公民館内 第1会議室
TEL093-436-0061(内線)293
金 丸 克 人

あいさつ運動は小さい頃からするのが望ましい
ということで、家庭部会では、オアシス運動を推
進するため、6月21日から町内の幼稚園や保育園
で、読み聞かせを広める会マザーグース(濱田順子
代表)の協力で人形劇を行っております。



▲苅田みどり幼稚園にて

「オアシス運動」啓発人形劇公演 一日程一

幼稚園・保育園	日 時	幼稚園・保育園	日 時
若久青い鳥保育園	6月21日(火)	青い鳥保育園(集)	7月12日(火)
苅田みどり幼稚園	6月27日(月)	聖母保育園	7月14日(木)
白川保育園	6月29日(水)	すみれ幼稚園尾倉分園	7月20日(水)
第2ひまわり保育園	7月1日(金)	与原保育園	7月20日(水)
苅田第1幼稚園	7月7日(木)	わんぱく園	7月22日(金)
苅田幼稚園	7月11日(月)	第1ひまわり保育園	7月26日(火)
すみれ幼稚園	7月12日(火)	善立寺保育園	7月27日(水)

「夜回り先生」講演会 水谷 修 氏

「夜回り」と呼ばれる深夜パトロールを行いながら、
若者の更正に尽力されている、水谷修先生の講演
会を開催いたします。

平成17年10月29日(土)

- ◆会 場 / 苅田町立中央公民館
- ◆受 付 / 18:00～
- ◆入場料 / 無 料



水谷 修 Osamu Mizutani
プロフィール

1956年横浜生まれ。
上智大学文学部哲学科卒業。
各種メディアの出演や、日本各地での講
演を通して、少年非行の実態を広く社
会に訴え続けている。

第17回東京弁護士会人権賞受賞。
主な著書に

- 『夜回り先生』(サンクチュアリ出版)
- 『さらば、悲しみの青春』(高文研)
- 『さよならが、いえなくて』
(日本評論社)など。

編集後記

「今、子どもたちを取り巻く
環境は厳しい」そう言われ始め
てからかなりの年月が過ぎてい
る。学校・地域・家庭と三位一
体となった青少年健全育成に向
けての取り組みも全国各地で行
われ、一定の成果を上げている
のも事実である。しかし、子ど
も達を狙った変質者の出没や犯
罪、子どもへの虐待など「子ど
も達を取り巻く環境」はさらに
悪化してきているように思われ
る。大人が本気になり次代を担
う子ども達を守り健全に育てて
いくためには住みよい環境をつ
くりあげることが急務である。
そして、多様化した価値観の中
で子ども達にとって何が大事な
のかを選択し教えていかなけれ
ばならないと痛切に感じしてい
る。

有 延 康 滋

平成17年度編集委員

委員長	委員
本 多 澄 子	濱 田 イサ子
古 西 ハヤ子	石 田 正 枝
金 丸 晴 樹	有 延 康 滋

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎093・434・9838